

有明高専だより

第46号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944 53 1011

印刷・宮原印刷

第十九回 入学式式辞

桜の花に雨の月になりましたが、新營成ったばかりの第二体育館において、本日ここに来賓各位参列のもと、本校第十九回入学式を挙行し、若く希望に燃える新入生二名を迎えることができました。とは、本校教職員一同並に在校生一同の最も慶びとするところあります。諸君は、福岡・熊本・長崎などの各県から、厳しく選び抜かれた方々であり、これまでの諸君の勉学と努力に対し敬意を表すと共に、諸君並に御父兄の皆様に心から祝意を表する次第であります。

学校の歴史・高等教育の目的

本校は新制度の高専として昭和三十八年に機械、電気、工業化学の三学科で創設され、四十三年に建築学科の増設を得て、卒業生を十四回、合計一六五二名を社会に送っています。これらの卒業生は在、それぞれの専門分野で、国内だけでなく海外でも広く、高度の技術者として活躍しております。

高専教育の目的は、学校教育法に「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」とあります。大学教育と異なる十五才から五年間の一貫教育と少人数教育

につけて一生の友となる沢山の先輩同僚後輩を得るよう、毎日毎週の生活リズムの調整に努めていた

ことなく、高度の実践的技術者として五年後には社会の各分野に

立つことになりますが、さらに大学への編入あるいは技術科学大学への進学の道も開かれています。

このように諸君には洋々として広

がる未来があります。

社会の期待と使命感

資源の乏しい日本では、特に工

業化学科、建築学科の順に午前八時五十五分に学校を出発、同十一時五十分に全員目的地に到着、

と、機械工学科、電気工学科、工業化学科、建築学科の順に午前八時五十五分に学校を出発、同十一時五十分に全員目的地に到着、

このように諸君には洋々として広がる未来があります。

このように諸君には洋々として広

がる未来があります。

このように諸君には洋々として広

がる未来があります。

このように諸君には洋々として広

がる未来があります。

このように諸君には洋々として広

学習態度と進路

義務教育の中学生あるいは高等

学校の生徒と異なり、諸君は本日

から国立工業高等専門学校の生

徒で、このこれから日常生活を今ま

での惰性に流れることがなく新しい

感に燃える高度の実践的技術者の

育成の高い目標をかかげてお

ります。その力が大きい程、将来の工

学技術を荷なう諸君の責務は大き

く、専門の技術の外に、豊かな教

養・広い視野・高い識見と協調、

積極・独創の精神が要求されます。

社会のこの大きな期待に応えるた

めの使命感を常に持ちづけ、人

との情誼をもち、家庭・寮・学

校でのこのからの日常生活を今ま

での惰性に流れることがなく新しい

感に燃える高度の実践的技術者の

育成の高い目標をかかげてお

ります。

新入生歓迎

甘木山ハイク
晴天に恵まれて終る

中食後は、各科毎に、予め学科で

計画されていた新入生歓迎の集会

が開かれ、所期の目的を達して行事を終了することが出来た。

後日（四月十八日）、学生主事

主補の先生方と学生会役員で反省

会を開き、この行事の総括をした。

その概略を記すと次のよう

である。

（学生会）

有明高専だより (別刷)

昭和56年5月25日

昨年4月に迎えました吉村新校

長の新たな構想として「学内共同利用教育施設設備」が本校に設置されました。現在

(特別講義)

昭和56年2月3日5時限~8時
について特別議義を視聴覚室において行つた。

講師は早稲田大学理工

学部教授木村一氏で校長をはじめ

教職員学生多数の参加者があり、

講演後の質疑も活発で頗る盛會で

あった。内容は先生の豊富な体験

に基づいて実際問題について講話

されたので学生にも理解しやすく

極めて有益な講演会であった。

は地域環境開発共同教育用設備施設であり、(1)環境汚染問題 (2)自然災害問題 (3)エネルギー問題がその三本柱となっております。環境風洞以外は各学科で分散していた総合実習が場所的にもかなり総合されることになります。現在の第一第二プロジェクトもこの施設・設備に発展的に組み込まれます。地域社会と直結した総合的教育研究となるよう計画中で、内容は次の「たより」で紹介されることがあります。

学生諸君も人ごととしてではなく自分の身辺に工学の目を注ぎます。

工学のことは分りませんが遠大な計画より、例えは、本校内の水道水を生命の危険を感じずには生きていません。私自身は

環境汚染にしても遠くにありて想像のではあります。自分自身は工学のことは分りませんが遠大な計画より、例えは、本校内の水道水を生命の危険を感じずには生きていません。私自身は

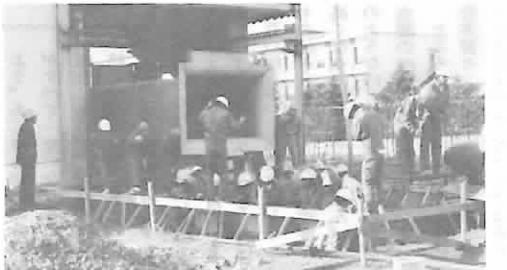


写真3 空気取入れチャンバピット側壁コンクリート打設(その2)

写真2 空気取入れチャンバピット側壁コンクリート打設(その1)

写真4 ガラリ取付作業

表-2 昭和56年度総合実習・前期時間割

| 曜日 | 機械工学科(M) | 電気工学科(E) | 工業化学科(C) | 建築学科(A) |
|----|--|-----------------------|--|---|
| 月 | | 3 E (5~7) 応用物理(中村) | | |
| 火 | 5 M (2~4) 工学実験(清森・内野・中村) 3 M (2~4) 応用物理(石崎) 5 M (6~7) 農業研究(清森・田口・石崎・内野・中村) | 5 E (5~7) 卒業研究(武下) | 5 C (5~7) 卒業研究(勝田・石橋) | 5 A (5~7) 卒業研究(吉岡・三宅・田中) |
| 水 | 4 M (5~7) 工学実験(石崎・中村) | 5 E (5~7) 工学実験(武下) | 5 C (5~7) 工学実験(武下) | 5 A (6~8) 卒業研究(吉岡・三宅・村久木) |
| 木 | 5 M (5~7) 工学実験(清森・内野・中村) | 4 E (5~7) 工学実験(須藤) | 4 C (5~8) 工学実験(渡辺) 3 C (5~7) 応用物理(宮川) | |
| 金 | | | 5 C (5~7) 卒業研究(勝田) | |
| 土 | | | | 4 A (1~4) 実習(吉岡・近藤) 3 A (2~4) 応用物理(中村) |

上欄の文字は学年・学科(時限)、下段は学科目(指導教官・技官)を示す。